

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
310015	X-21-B-1-310015	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年	
基礎ゼミナール2	臼井 陽一郎			【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	×
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	×		
ゼミテーマ・タイトル								
メッセージを探る—世界に埋め込まれた暗号を解読するためのいくつかの試み								
内容								
<p>目的： 自分とは誰であるのか、世界とは何であるのか。そして自分は何のために存在し、世界はどこへ向かっていくのか。あらゆる学問がその根本においてこのような根源的な問いにつながっていく。そうでない知識はただの機械の道具にすぎない。真に生きた知に向かって意識を啓いていくこと、それが大学で学問にふれることの基本の目的である。そのためのはじめの一歩として、さまざまなことがらに目を見開き、その意味を問うていきつかけを作っていきたい。</p> <p>ゼミで実施するワークの例： 自己紹介—いま自分に足りないこと・絶対に手に入れたいこと・ひとを幸せにすること 写真を読む—物語を読み取りメッセージを見出す 動画を観て文章を書く—映像の中で何が生じているのかをつかむ 難民問題について—誰の責任か・誰が救済すべきか・日本は何をすべきか シリア難民の臓器売買—臓器を買う売人と売る難民は悪を為しているのか エッセイコンテスト—描写の具体性・論理の説得力・主張の訴求力・文の柔らかさ・無条件の魅力 テキストを読む—入門政治学 365 日・戦争に負けないための二〇章・ダウン症をめぐる政治 音楽を聴いて文章を書く—忌野清志郎・ジョンレノン・発達障がいをもつピアニスト 自分の価値観を探る—理想の自分像と理想の人間像を比較する 政治家のスピーチを聴く—トランプ・サンダース・斎藤隆夫・チャップリンなど。</p> <p>400 字課題： 400 字ぴったりで下記のテーマを自由に論じる（主語に一人称は使わない・語尾に思う思った感じる感じたは使わない） 人間について・希望について・絶望について・身体について・精神について・社会について・政治について・世界について・正義について・自由について・公正について・不安について・平等について・理想について・秩序について・歴史について・テロについて・権力について・戦争について・責任について なお、400 字課題ふくめて、毎回 4 時間相当の予習／復習が必要になる。</p>								
使用予定テキスト								
授業中に配布します。								
ゼミの進め方								
毎回ゼミ内で課題を出す。A3 版用紙一枚でその課題への応答を表現してもらおう。絵を描くのもかまわない。								
成績評価基準								
ゼミ内で実施する課題 50% ゼミ外で実施する課題（400 字課題）50%								
ゼミ選択上のアドバイス								
ゼミの中でぽつんと一人、だれとも喋らずすわっているだけでもよいです。頭の中で・心の中で、しっかりと考え抜いてください。いつめんと一緒に来て机の上にカバンをおいて先生から手元が見えないようにして隣のイツメンとべちゃくちゃ私語してスマホで LINE やゲームに精を出して限られた生命の時間を湯水のように無駄遣いするのもかまいません。ふとした瞬間にゼミでやったことを一瞬でも思い出したらそれにこだわってみてください。人間という存在が生きているという事態がもつさまざまな凄さ・切なさ・怖さ・素晴らしさに意識が向かうその一瞬をしっかりとらえられるようなそんな学生になってもらえたら、まあ良いかなと思います。								
その他								

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
310015	X-21-B-1-310015	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年	
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
基礎ゼミナール2	澤口 晋一			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×					

ゼミテーマ・タイトル

基礎ゼミ1と基本的には同じ内容を継続します。1. 国際学部の学生として、日々世界で起こっている様々な出来事や問題に対して常に関心を抱き続けられる気持ちと好奇心を醸成する。

2. 初年次教育：大学での学び方を少しづつ身につける（文献・資料の探し方、テキストの読み方、発表の仕方、文章の書き方等々）。

内容

1. この1年間で毎日、新聞に目を通すという習慣をまずは確実に身に着ける。そのために、各自が当該週の新聞記事の中から特に重要だと感じた、あるいは関心をもった記事を国際欄を中心に4編選び、その内容を指定されたフォーマットに基づいて記載し論評する。ゼミでは、前半の約50分間は毎回1グループ4～5人となってその記事を紹介し、質疑を行う。記入した用紙は毎回回収し、評価を記入したうえで返却する。これを1年間毎週実施する。なお、基礎ゼミ2では、特定のテーマを選定し、それを全員で十分に調べたうえで、ディベート形式で意見交換を行い議論をするといった時間を数回取ります。

2. 基礎ゼミ2でも「初年次教育」的な内容は継続するが、時間的には基礎ゼミ1ほどには費やさない。

なお、上記のゼミを遂行するためには、ゼミ員は毎週のゼミの準備に予習・復習含めて4時間の学習を必要とします。

使用予定テキスト

- ・新聞
- ・佐藤 望ほか『アカデミック・スキルズ—大学生のための知的技法入門—』慶応大学出版会。
- 他のテキスト

ゼミの進め方

上記の内容と同じ。

成績評価基準

毎回の新聞記事報告用紙の提出とその内容、口頭報告の内容および取り組み姿勢など。

ゼミ選択上のアドバイス

毎日、新聞を開いて眺めて、興味のある記事を見つけて、切り取ってその内容をレビューするというをやってみたい人、待っています。

その他

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
310015	X-21-B-1-310015	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年	
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
基礎ゼミナール2	藤本 直生			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×			
ゼミテーマ・タイトル								
英字新聞を読んで、英語でエッセイを書いてみよう								
内容								
このゼミでは、Mainichi Weekly という大学生向けの英字新聞内容を読み、内容を確認して要約したり、そのことについてどう思うかグループで話し合います。後期には、次の6つのトピックについて、賛成・反対意見の両方を含めた論争型のエッセイ (Balanced Essay) 200 words を書きます。今学期は、最終的に1年の締めくくりとして、1,000 words (900-1,100 words) のアサインメント (Assignment) を書くことにも挑戦します。								
1) Do sports play a positive role in society? 2) Is coexistence of wild animals and humans possible? 3) Can international terrorism ever be eliminated? 4) Can racial discrimination be totally eliminated from society? 5) Is consumption tax a good way to raise government revenue? 6) Do the strengths of multicultural societies outweigh the weaknesses?								
また、アサインメントの構成は次の通りとします。 1. Introduction, 2. Situation, 3. Problems, 4. Solutions, 5. Conclusion								
使用予定テキスト								
Mainichi Weekly より次のような記事を読む予定ですが、その他にも最新の記事を付け加えて行きます。 "Taxing Issue" 消費税率8%に引き上げへ 阿部首相が表明、2/15/2013 "Monkeys Attract International Crowd" 長野県「地獄谷野猿公苑」にて、2/15/2014 "Remembering MLK" キング牧師「私には夢がある」演説から50年、9/7/2013 "Booming Bollywood" インド映画の新時代「きつと、うまくいく」8/10-17/2013 "Connecting Cultures" ケリアン・パノス氏に聞くコミュニケーション学、3/9/2013 "History Makers" ラグビーW杯 日本、初の3勝 8強はならず、10/24/2015 "Confronting Terror" パリ同時テロ129人死亡、ISが犯行声明、11/28/2015								
ゼミの進め方								
まず、あるトピックについての賛成・反対意見をグループで話し合います。次に、そのような意見をサポートするための参考文献を図書館で探します。さらに、その文献も含めてエッセイの構成をマインドマップで考えます。このようなライティングの活動を通して、基本的な英語での論文の書き方を学びます。								
成績評価基準								
①出席・授業態度 30%、②英文エッセイ 40%、③ER 20% ③ファイル・マネージメント 10% 以上4点を総合して成績をつけます。なお、エッセイは期日までに提出すること。								
ゼミ選択上のアドバイス								
大学に入学して間もない皆さんが4年後のことを考えるのはむずかしいと思いますが、4年生になったら英語で卒業論文を書きたいという人は、ぜひこのゼミを選んで下さい。また、英語を読んだり書いたりすることに自信を付けたいと思っている人もどうぞ。エッセイの書き方については十分に時間をかけて説明します。								
その他								
授業で配布するプリントは、ファイルを用意してきちんと綴じて下さい。ファイル・マネージメントも成績評価に加味します。								

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
310015	X-21-B-1-310015	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	×
基礎ゼミナール2	小山田 紀子			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

ゼミテーマ・タイトル

国際社会を見る眼を養おう

内容

後期のこのゼミナールでは、世界の若者について考えていきたいと思えます。

フランスの移民暴動やその後の大学生を中心としたデモ活動による政治参加など、フランスの若者の活動を見ていきます。またアラブの春と呼ばれる中東の変革の波の契機となったチュニジアのジャスミン革命の様子を映像を交えて勉強します。これらの民主化の動きは若者が中心に進められつつあります。

一方、日本でも格差問題や雇用問題など、深刻な問題が顕著になってきています。日本の若者にも世界の若者たちとの共通点があると言えるでしょう。日本という国の歴史と現在について学び、今の日本の課題とこれからの日本人の生き方を考えていきたいと思えます。

後期は、新聞記事なども活用して、時事問題についても皆さんと議論していきたいと思えます。

毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

入江昭『平和のグローバル化へ向けて』、小熊英二『日本という国』、山本三春『フランス ジュネスの反乱』（朝日新聞社）、宮島喬『ヨーロッパ市民の誕生』（岩波新書）、水谷周編著『アラブ民衆革命を考える』（国書刊行会）等を考えていますが、テキストは未定。

ゼミの進め方

第1回目のゼミでテキストを決定し、これを全員で輪読します。毎回報告者は、担当の箇所を読んでレジュメを作成してきて発表します。それに対して、他の学生も質疑応答して議論に参加します。テキストを読み終えたらレポートを作成してもらいます。これらを通して、本の読み方、議論の仕方、レポートの書き方など、基本的な勉強の方法を学びます。

成績評価基準

ゼミでの発表の内容、レポート、出席状況とゼミ活動に積極的に参加しているか等により評価する。

ゼミ選択上のアドバイス

大学生活にも慣れてきた後期においては、ゼミナールの中での学生同士の交流も進めていきたいと思えます。ゼミでの発表に当たっては学生の皆さんにも司会をしてもらったり、他学年のゼミナールとの合同ゼミなどを試みたいと思えます。積極的にゼミ活動に参加することを期待します。

その他

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
310015	X-21-B-1-310015	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	×
基礎ゼミナール2	山田 裕史			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	
ゼミテーマ・タイトル								
(1) わたしたちの日常生活と国際協力 (2) 大学で学ぶための知的技法の習得								
内容								
<p>このゼミでは、次の2つについて学びます。</p> <p>(1) 国際協力 なぜ豊かな国と恵まれた人々が、遠くの見ず知らずの貧しい人々を助けるのでしょうか。また、どのように助けるのでしょうか。グローバル化が進んだ世界に生きる市民として、私たち一人ひとは、日常生活のなかでどのように国際協力にかかわることができるのでしょうか。このゼミでは、国際協力に関する文献やドキュメンタリー、ワークショップを通じて、国際協力に関する基礎と、大学を含む日常生活で実践できる身近な国際協力について学び、上記の問いについて考え、議論し、行動します。 また、希望者がいれば、カンボジアまたはベトナムをフィールドに国際協力の現場を訪問する、スタディ・ツアーの実施も検討します。</p> <p>(2) 大学生として不可欠な学びの技法 大学で学ぶうえで大切なことは、暗記した内容を試験で答えるという高校までの学びとは異なり、自ら問題を見つけ、それを整理して、自分なりに考えて答えを導き出す能力を身につけることです。 このゼミでは、講義でのノートを取り方、図書館での文献・資料など情報の探し方とその整理の仕方、プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方など、大学生として不可欠な学びの技法を、グループワークを通じてじっくり、丁寧に身に付けます。これらは、大学での学びに必須となる「問いを立てて、調べ、考え、表現する」というプロセスの初歩的なトレーニングと位置づけられます。 人前で話すことやグループワークが苦手という人もいるでしょう。しかし心配はいりません。このゼミでは、一人ひとりがファシリテーションの技法を習得し、大学生活だけでなく実社会でも通用するコミュニケーション能力を身に付けます。</p> <p>毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。</p>								
使用予定テキスト								
世界思想社編集部編『大学生 学びのハンドブック』3訂版、世界思想社、2015年 その他、国際協力に関する基礎的な文献を適宜、配布します。								
ゼミの進め方								
(1) 文献講読・ドキュメンタリー鑑賞と討論、ワークショップ、(2) 各自のリサーチに関するプレゼンテーション、を組み合わせで行います。また、このゼミで学んだ技法をもとに学期末にレポートを執筆します。								
成績評価基準								
(1) 出席、(2) 文献講読・ドキュメンタリー鑑賞と討論の内容、(3) プレゼンテーションの内容、(4) レポートの内容、をもとに総合的に評価します。								
ゼミ選択上のアドバイス								
国際協力について学ぶだけでなく、国際協力にかかわる団体で活動したり、日常生活においても身近な国際協力を実践したりする、意欲的な学生の履修を期待します。本学には、途上国の子どもたちの学校給食を支援するTFT（テーブル・フォー・ツー）や、フェアトレード（途上国との公正な貿易）の推進に取り組む国際協力団体があり、このゼミで学んだ先輩たちが国際協力を実践しています。								
その他								

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
310015	X-21-B-1-310015	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
基礎ゼミナール2	越智 敏夫			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	×
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	×		

ゼミテーマ・タイトル

世の中について考えるとはどういうことか？
 ……言いかえれば、
 他人の幸福や不幸と自分のそれとは関連するのか？

内容

【新入生の皆さんへ】

本当は別のことをしたいのだけれど、でも才能とかお金とか、いろんな制約があるので、今はこうしてここでつまらない人生を送っているんだ、とは絶対に考えないほうが良いと思います。そうやって自分をだます言い訳ばかり考えているうちに、本当にゴミみたいな人間になっていくんじゃないでしょうか。「今ではないいつか、ここではないどこか」における人生ってのが存在するのなら、誰も苦勞はしてないし、みんな、もつともつとおちゃらけてるはずでしょう。

以上のことを前提にして【ゼミ内容】を少しまじめに書くと、ものを読み、考え、議論し、それを文章にまとめる、という一連のことをします。当たり前といえば当たり前のことをするわけです。しかしこれは大袈裟に言えば、共同で知的訓練をつむという作業です。中心になるのは議論をするということですから、黙っていても単位はもらえるだろう、と思う人は来ない方がいいです。

そして【何について議論するか】というと世の中についてです。なんでまた自分以外のことについて考えないといけないかと言うと、それが結局自分の幸福について考えることになりまして、また自分自身を幸福にすることにもつながるはずだからです。その意味で言えば、新聞を読まない人は絶対に幸福になれません。その理由を考えるゼミでもあります。ただし、ゼミでの議論がいくら盛り上がっても、各自の目的意識を欠いては、ただの「お遊び」でしかありません。他はいつでもいいけれど、現代社会のここだけは絶対許せない、という獣のような批判精神ある学生の参加を期待します。

毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

ゼミ参加者と相談して決めます。

ゼミの進め方

特定のテーマに関する論文や記事、書籍を全員で読んで、その内容について議論します。全体の進行を担当する「司会」、内容の要旨を報告する「レポーター」、その内容を批判する「コメンター」を中心に議論を進めます。ゼミ生はこのみつつの役割を順番に担当します。数回でひとつのテーマを終了する予定です。終了後にはそのテーマについてのレポートを書いてもらいます。

成績評価基準

ゼミナールですから出席を重視します。各セメスター、3回までは欠席しても単位を出しますが、それ以上欠席すると単位は出しません。欠席の理由は問いません。バイトだろうが、風邪だろうが、欠席は欠席です。

ゼミ選択上のアドバイス

ま、これも自分をだまさないことでしょう。本当は遊びたいのに、きついゼミを選んだりすれば、教師も学生もお互い不幸になるのは明らかです。そこをよよく考えてください。

その他

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
310015	X-21-B-1-310015	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	×
基礎ゼミナール2	瀬戸 裕之			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

ゼミテーマ・タイトル

東南アジアの地域形成を考える

内容

【ゼミの目的】

本ゼミでは、東南アジアの地域形成を学びながら、日本とアジアについて考えることを目的とします。

東南アジアは、現在、世界の中でも経済発展が目覚ましい地域であり、日本企業も多く進出しています。また、毎年、多くの観光客が訪れており、日本との関係が深い地域です。さらに、アジアで唯一、地域統合が進みつつあり、2015年末には、ASEAN 共同体が発足するなど、今後の展開が注目されています。その一方で、近年では、中国との間での領土紛争などが話題になっています。

今後、東南アジアは、どのような方向に発展していくのでしょうか。また、日本は、それにかかわっていくべきなのでしょうか。安全保障や経済関係という視点を超えて、東南アジアとの間でより深い関係をつくるためには、東南アジアがどのように形成されてきたのか、日本と東南アジアがどのような位置づけにあるのか、という点について、長期的な視点から考えてみるのが重要であると考えます。

本ゼミでは、東南アジアに関する本（新書）を一緒に読みながら、東南アジアに対する理解を深めたいと考えています。

【ゼミの予定】

（後期）

後期ゼミでは、岩崎育夫著『入門 東南アジア近現代史』（講談社現代新書）を読みます。学生の間で担当を決めて、担当する部分についてレジュメを作成して発表してもらいます。その後に、学生の間で質疑応答を行います。東南アジアに関する基礎知識を身につけるとともに、ゼミ報告の方法についても学びます。

毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その結果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

岩崎育夫著『入門 東南アジア近現代史』（講談社現代新書）、講談社、2017年。

※受講者に、必ず購入してもらいます。

ゼミの進め方

学生が本の担当部分についてレジュメを作成し、ゼミで報告します。それに基づいて、学生の間で質疑応答を行います。必要に応じて、教員が情報を補足します。

成績評価基準

学生によるゼミへの参加と報告内容に基づいて成績を出します。具体的には、(1)ゼミへの出席・授業態度（25%）、(2)担当した章に関する発表内容と取り組みへの姿勢（50%）、(3)ゼミでの発言やディスカッションへの参加（25%）、に基づいて評価します。

ゼミ選択上のアドバイス

本ゼミでは、これから4年間、大学で学習するための基本的な方法を学びます。できるだけ欠席をせずに参加して、ゼミ仲間や教員とのディスカッションを深めてください。

その他

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習